

米国経済・株式市場情報

米国株調整の中、堅調なエネルギー関連資産

10年ぶりの金利水準への上昇で米国株の調整色強まる

- ▶ 9月FOMCをうけて金利先物市場では利下げ見通しが後ずれ。
- ▶ 米長期金利は10年ぶりの高水準まで上昇。割高感が意識されやすいハイテク関連株などを中心に米国株は調整するも、原油高をうけてエネルギー株、MLPなどは堅調に推移。

9月FOMCをうけて利下げ見通しは後ずれ

- 9月に開催されたFOMC(米連邦公開市場委員会)において、政策金利の据え置きが決定されました。パウエルFRB(米連邦準備制度理事会)議長は、「経済が予想以上の強さを見せた場合には更なる金融政策の引き締めが必要になる」との認識を示しました。市場で注目されるFOMC参加者による政策金利見通し(ドット・チャート)では、2023年末の政策金利は、前回(6月)会合から据え置かれたものの、2024年末、2025年末ともに上方修正(利下げ先送り)されました。
- 9月FOMCをうけて金利先物市場では、2024年中の利下げを想定していますが、その時期は後ずれしています(図表1)。急ピッチな利上げを継続したにも関わらず、米国経済は比較的堅調に推移しており、今後も大幅な景気低迷に陥ることなく、堅調な景気を維持できると考えるFRBの自信がうかがえます。

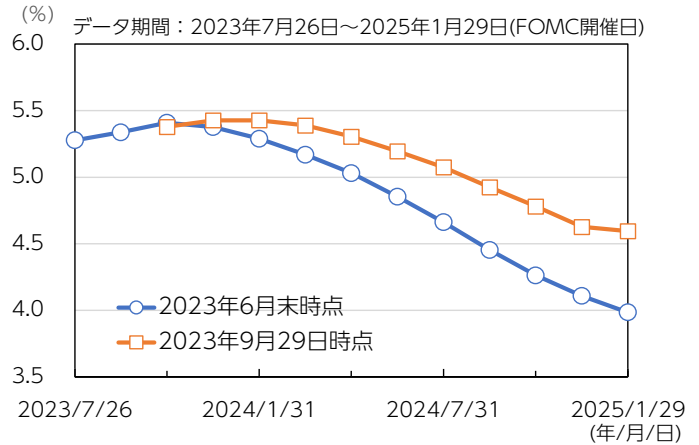
米長期金利上昇により米国株調整

- パウエル議長などの発言を受けて米長期金利は上昇基調で推移しています。発言に加え、原油価格の上昇や米自動車産業従業員の賃上げ要求ストライキによるインフレ懸念、政府与野党の予算を巡る対立による政府機関閉鎖懸念(9月30日つなぎ予算合意で一旦閉鎖回避)などから米長期金利は10年ぶりの高水準まで上昇しています。金利上昇をうけて、割高感が意識されやすいハイテク関連株などを中心に米国株は調整基調となっています(図表2)。主要米国株指数は揃って9月19日から4日続落となりました。

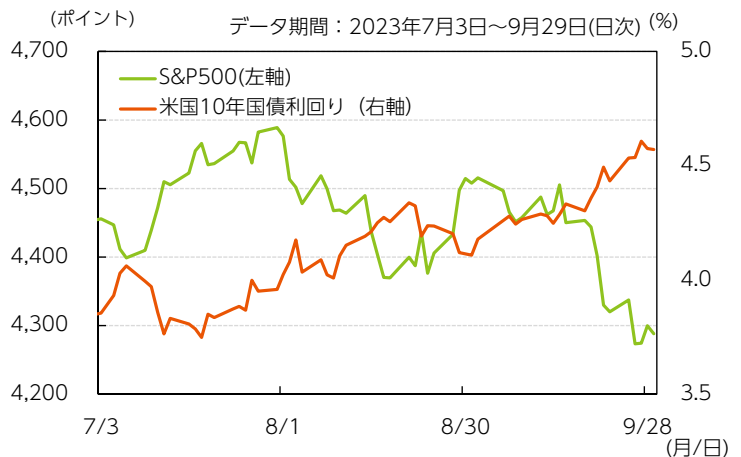
原油価格上昇をうけてエネルギー株・MLP堅調

- ハイテク株を中心に米国株が調整する中、主要産油国による積極減産や新興国の需要から在庫減少により、原油価格は上昇しています。米原油指標のWTI(ウエスト・テキサス・インターミディエート)先物価格は1バレル90ドル近辺で推移しています。原油高をうけてエネルギー株や主に原油パイプラインを運営するMLPは底堅く推移しています(図表3)。原油価格や米金利の高止まりが続けば、エネルギー株やMLPが優位な相場が当面続くことも想定されます。

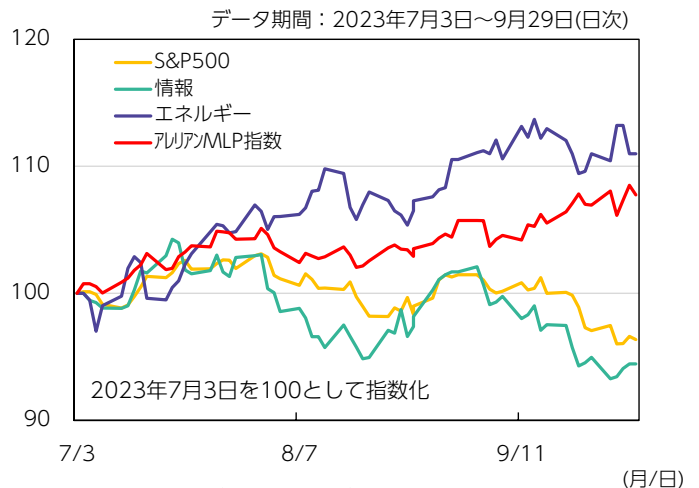
図表1：金利先物市場における政策金利見通し



図表2：米国株と米国長期金利の推移



図表3：S&P500、業種別指数とMLP推移



出所) 図表1～3はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>